

1 道路緑化率の算出

1.1 目的

全国の道路について（緑化済道路延長）／（道路延長）を道路緑化率として算出し、道路緑化整備状況を把握することを目的とした。

1.2 方法

調査は、国土交通省道路局が平成 11 年度に実施した全国道路情勢調査（道路交通センサス：平成 11 年 4 月 1 日時点の道路の状況）の一般交通量調査箇所別基本表から道路延長、緑化済道路延長を読み取り集計し、これから道路緑化率{（緑化済道路延長）／（道路延長）}を算出した。道路緑化率の算出は、都道府県別、地域別、政令指定都市別、道路種別に行い、それぞれ道路緑化整備状況を比較した。

（1）調査対象道路

全国道路情勢調査の調査対象路線は、「調査は原則として、道路状況調査及び交通量調査については一般都道府県道（指定市の主要市道を含む）以上の全路線及び指定市の一般市道の一部を対象に実施する」となっている。「指定市の一般市道の一部」とは、「原則として 4 車線以上の道路で、一般都道府県道以上と同等の機能を有する路線のうち一部を対象にする」とある。

今回、道路緑化率を算出した対象道路は、表 - 1.1 のとおりである。

表 - 1.1 緑化率算出対象道路

道路センサス調査対象道路	緑化率算出	備考
国土開発幹線道		
都市高速道路		
一般国道（直轄）		
一般国道（補助）		
主要地方道		主要地方道（都道府県道）と主要地方道（指定市道）の合計
一般地方道		一般都道府県道と指定市の一般市道の一部を足したもの

（2）用語の定義

緑化済道路延長 緑化済道路延長は、道路の上り側、下り側の少なくともどちらかが、あるいは中央分離帯、交通島が緑化されている区間の延長であり、交差点を含む車線中心線上の延長で計測した。（図 - 1.1 参照）

道路延長 調査対象とした道路の延長

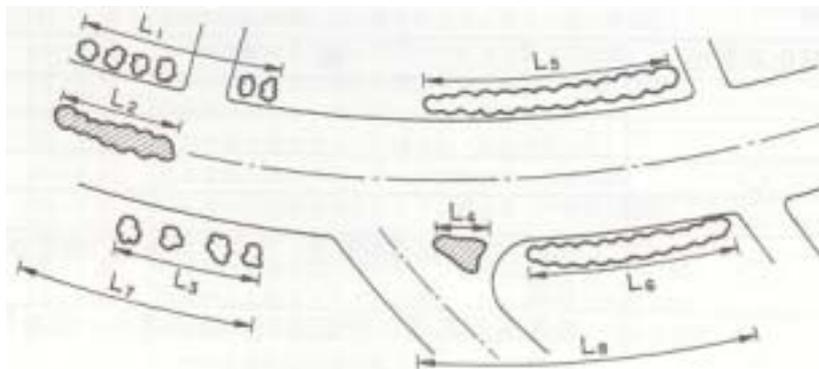
道路緑化率 道路延長のうち道路緑化がされている割合で以下の式で算出

$$\text{道路緑化率} = (\text{緑化済道路延長}) / (\text{道路延長})$$

(3) 地域区分

本調査の集計で用いた地域区分は以下のとおりである。

- 北海道 ... 北海道
- 北東北 ... 青森県、岩手県、秋田県
- 南東北 ... 宮城県、山形県、福島県
- 北関東 ... 茨城県、栃木県、群馬県、山梨県
- 南関東 ... 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 東海 ... 静岡県、愛知県、三重県、岐阜県
- 北陸 ... 新潟県、富山県、石川県、長野県
- 北近畿 ... 滋賀県、京都府、奈良県、福井県
- 南近畿 ... 大阪府、兵庫県、和歌山県
- 山陰 ... 鳥取県、島根県
- 山陽 ... 岡山県、広島県、山口県
- 四国 ... 愛媛県、高知県、香川県、徳島県
- 北九州 ... 福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、
- 南九州 ... 宮崎県、鹿児島県、熊本県
- 沖縄 ... 沖縄県



緑化済道路延長 = $L_7 + L_8$

凡例



環境施設帯及び植樹帯
(沿道への出入りのために植樹帯が分離されている場合は、その状況を勘案してまとまりのある部分を一つの植樹帯として延長の算出を行うこと。)



街路樹(並木)
(延長は交差点間等、一街区において外側の高木の幹間とする。)



中央分離帯及び交通島の植栽

図-1.1 緑化済道路延長

1.3 結果

(1) 道路種別の緑化率

1) 全国

算出した全国の道路緑化率を表 - 1.2、図 - 1.2 に示した。

全国の道路緑化率は、平成 11 年度で 8.7% に達し、前回平成 9 年度の調査時から 0.6% の伸びを示した。緑化率の伸びが最も大きいのは、一般国道（直轄）で、ついで主要地方道の順番になっている。一般地方道は前回調査と緑化率は横ばいであった。伸びが大きい一般国道（直轄）とその他の 3 種別の道路では、緑化率の差が年々大きくなっている。

2) 都道府県別

道路種別緑化率を都道府県別に比較したものを図 - 1.3 に示した。一般国道（直轄）は、緑化率が全体的に高く、特に 50% 以上の緑化率が、東京都（71.9%）、沖縄県（66.1%）、大阪府（55.3%）及び栃木県（51.0%）で確認された。一般国道（補助）では、沖縄県（48.9%）、埼玉県（48.7%）、神奈川県（41.2%）が高い緑化率を示した。主要地方道と一般地方道の緑化率は、グラフの形をみると少数の都道府県が突出して緑化率が高くなっており、全国の平均緑化率を上回る県は、それぞれ 11 都県（主要地方道）、11 都府県（一般地方道）しかない。これは、一般国道（直轄）では、全国平均の緑化率以上の県が 31 あることと対照的である。

(2) 都道府県別の道路緑化率

図 - 1.4 に平成 11 年度の都道府県別の道路緑化率を示した。

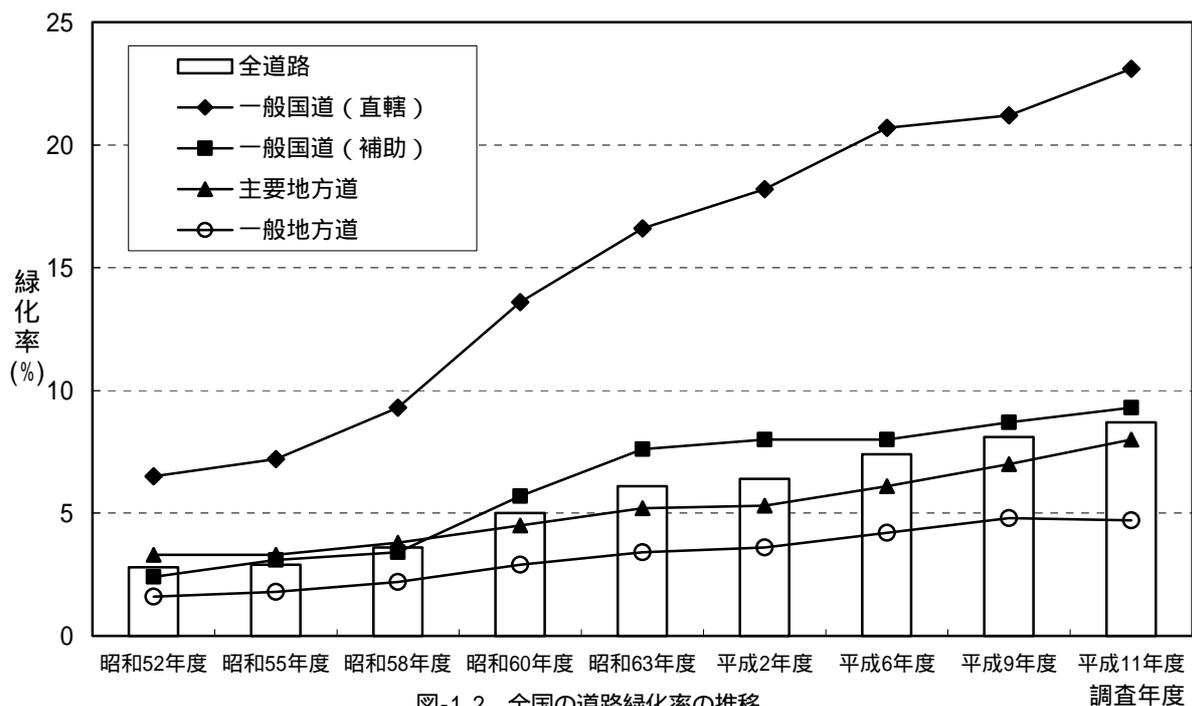
都道府県別の緑化率では、沖縄が最も高く 47.9%、次いで東京都の 44.9%、大阪の 33.9% となっている。道路緑化率が全国の平均 8.7% を上回っているのは 12 都道府県で、過去の調査時から順位の変動は少ない。

(3) 地域別の道路緑化率

図 - 1.5 に地域別の道路緑化率を示した。

地域別道路緑化率では、沖縄が 47.9% と最も高く、次いで南関東 22.1%、南近畿の 12.9% となっている。南関東は東京都や神奈川県、南近畿は大阪府など緑化率の高い県が含まれる地方があることが、高い地域別緑化率に結びついたものと考えられる。

また、南北東北や北陸、山陽、四国地域は緑化率が低かった。



ただし、昭和58年度以前の調査では、中央分離帯のみが緑化されている区間は緑化延長に含まれていない。また、昭和52年度調査では、同一区間内で緑化済延長を右側、左側別々に計測している。

表-1.2 全国の道路緑化率一覧

	一般国道(直轄)	一般国道(補助)	主要地方道	一般地方道	合計
昭和52年度					
道路延長	18,958.9km	20,334.5km	48,515.9km	77,794.9km	165,604.2km
緑化率	6.5%	2.4%	3.3%	1.6%	2.8%
昭和55年度					
道路延長	19,712.4km	20,881.2km	44,538.1km	86,832.0km	171,963.7km
緑化率	7.2%	3.1%	3.3%	1.8%	2.9%
昭和58年度					
道路延長	19,490.9km	26,801.7km	49,680.7km	77,081.8km	173,055.1km
緑化率	9.3%	3.4%	3.8%	2.2%	3.6%
昭和60年度					
道路延長	19,712.1km	26,648.3km	49,941.0km	77,634.3km	173,935.7km
緑化率	13.6%	5.7%	4.5%	2.9%	5.0%
昭和63年度					
道路延長	19,925.6km	26,693.0km	50,154.7km	78,134.5km	174,506.2km
緑化率	16.6%	7.6%	5.2%	3.4%	6.1%
平成2年度					
道路延長	20,047.7km	26,855.7km	50,314.3km	78,554.9km	175,336.4km
緑化率	18.2%	8.0%	5.3%	3.6%	6.4%
平成6年度					
道路延長	20,625.5km	32,689.3km	56,839.4km	67,183.1km	177,337.3km
緑化率	20.7%	8.0%	6.1%	4.2%	7.4%
平成9年度					
道路延長	20,663.1km	32,647.7km	57,208.1km	70,332.2km	180,851.1km
緑化率	21.2%	8.7%	7.0%	4.8%	8.1%
平成11年度					
道路延長	20,843.7km	32,825.2km	57,339.6km	69,963.6km	180,972.1km
緑化率	23.1%	9.3%	8.0%	4.7%	8.7%

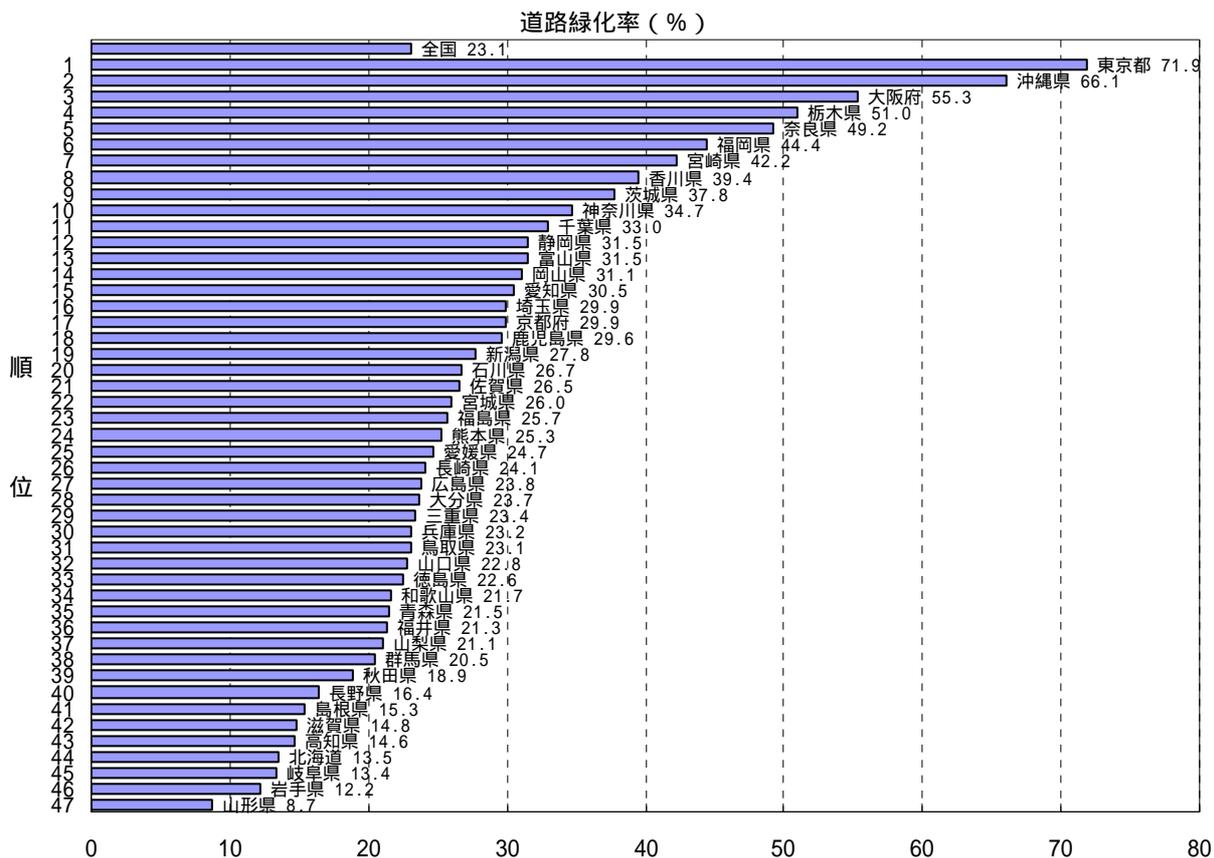


図-1.3(1) 都道府県別の道路種別道路緑化率、一般国道（直轄）

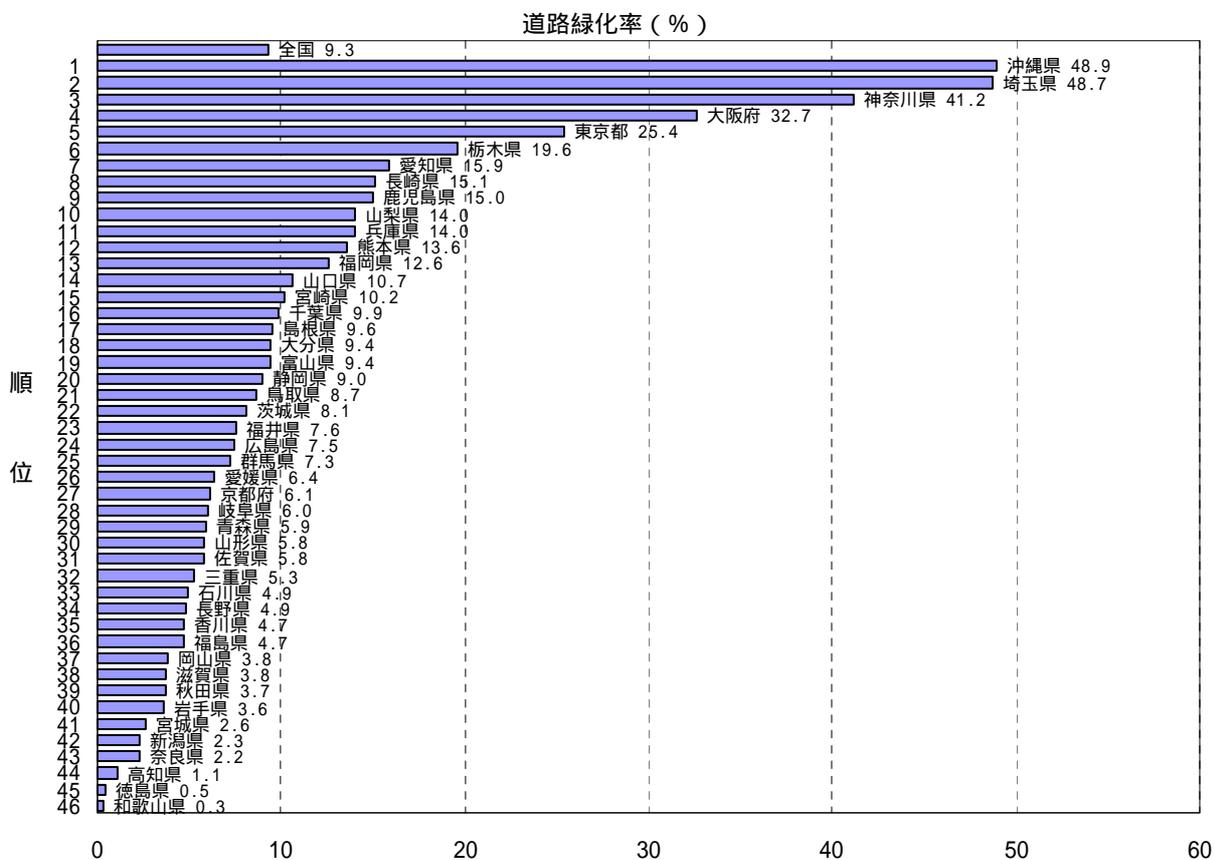


図-1.3(2) 都道府県別の道路種別道路緑化率、一般国道（補助）

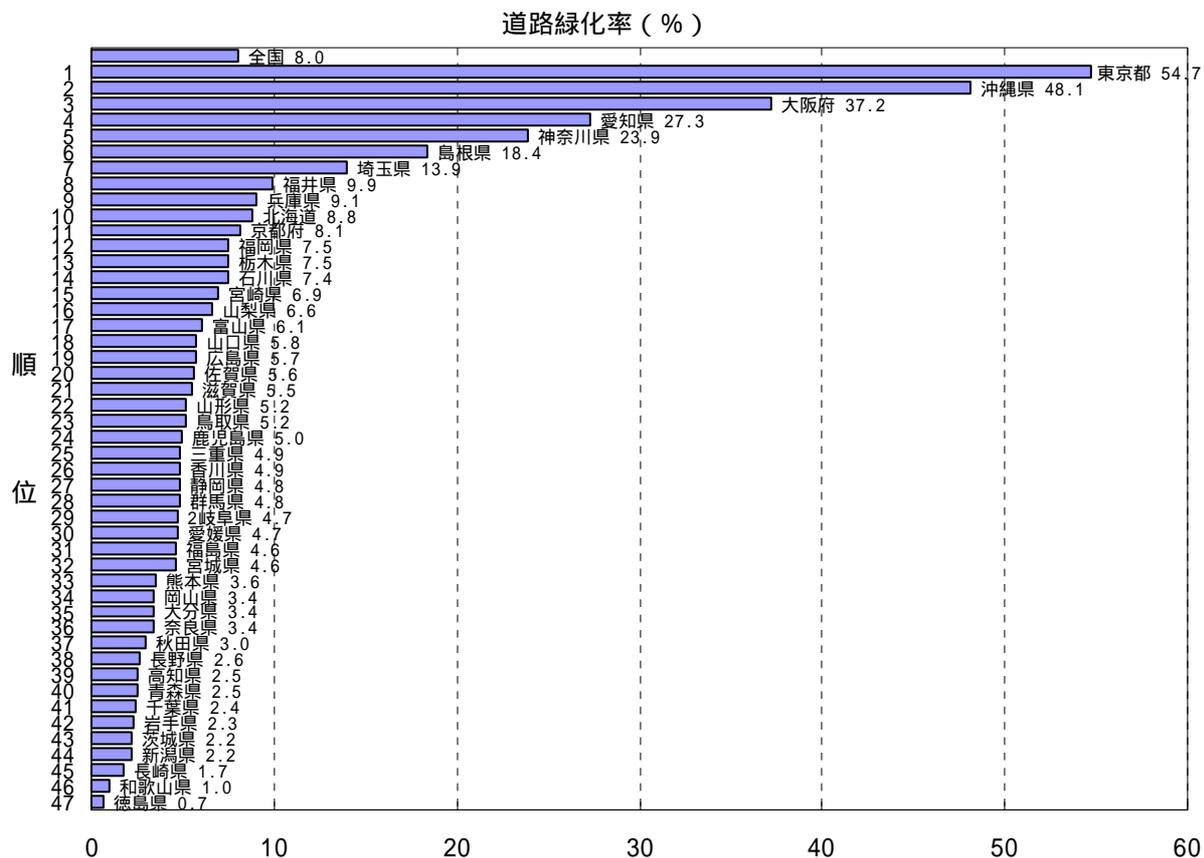


図-1.3(3) 都道府県別の道路種別道路緑化率、主要地方道

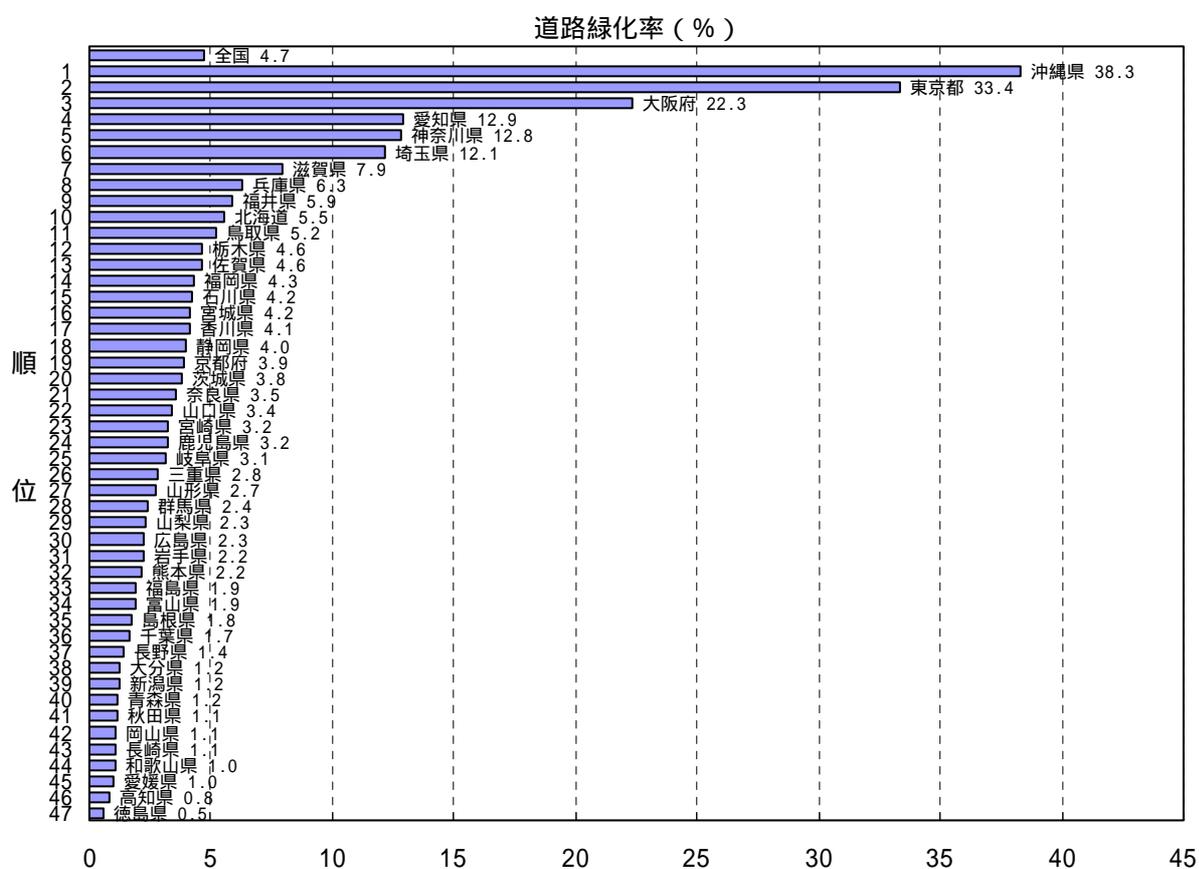


図-1.3(4) 都道府県別の道路種別道路緑化率、一般地方道

道路緑化率 (%)

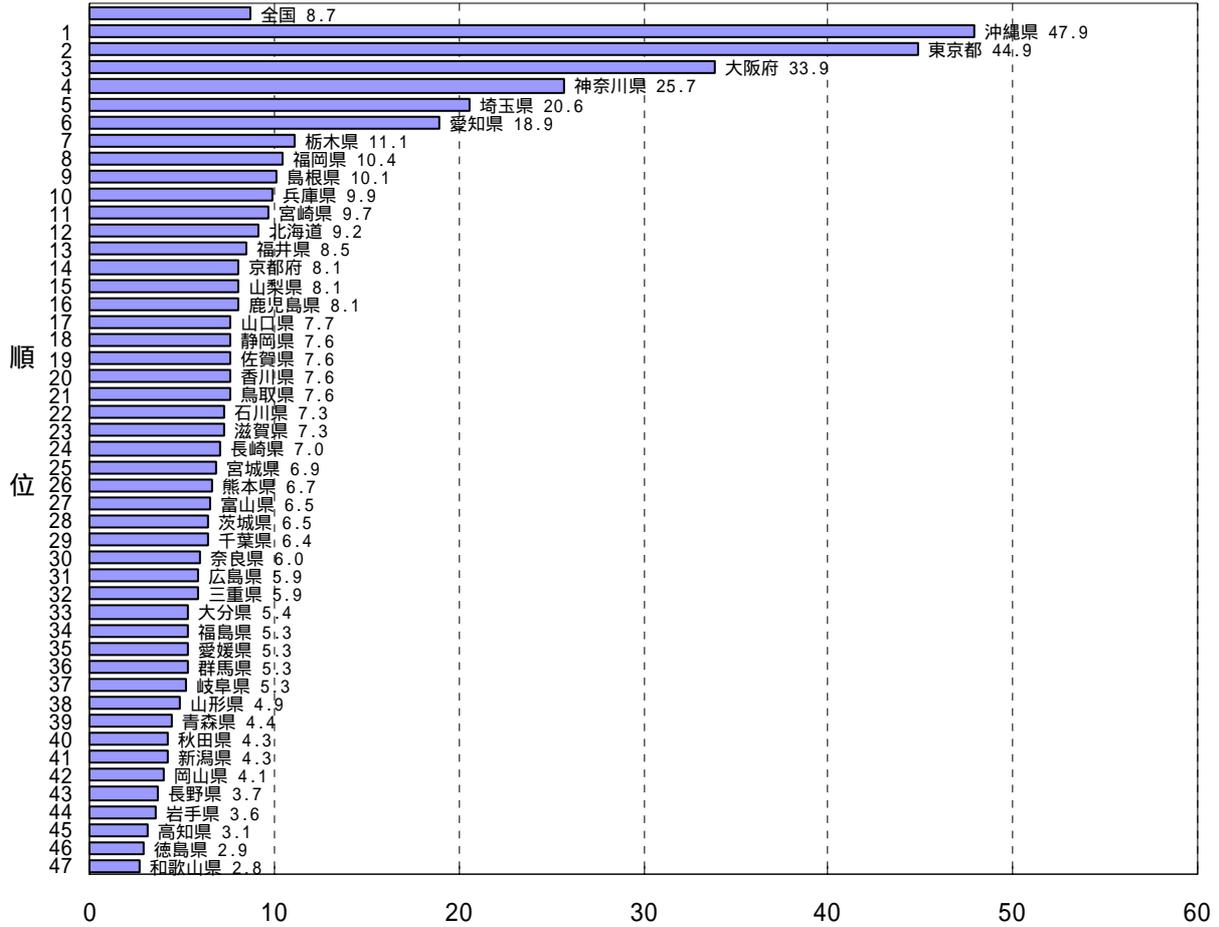


図-1.4 都道府県別の道路緑化率

道路緑化率 (%)

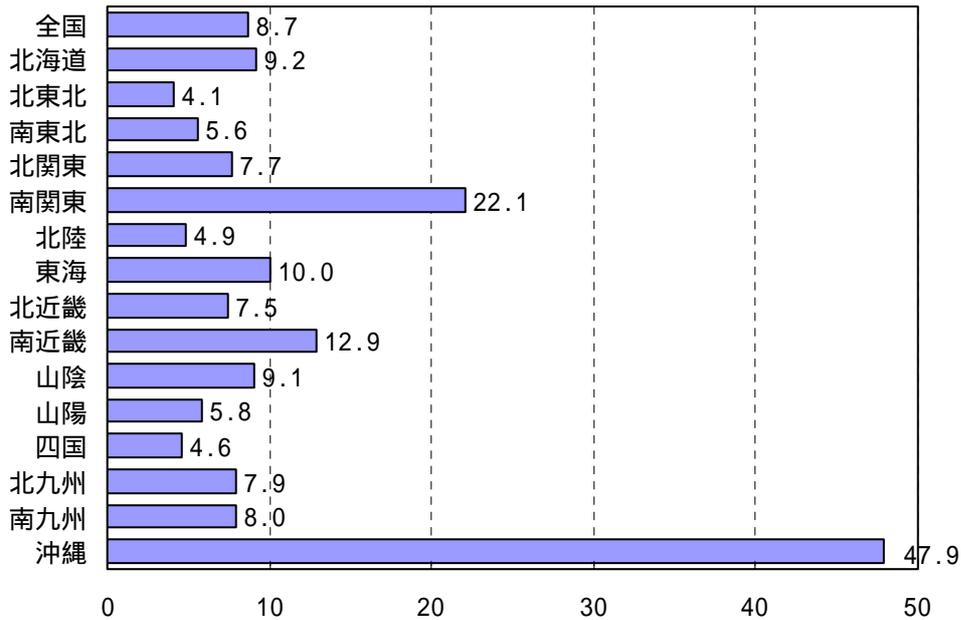


図-1.5 地域別の道路緑化率

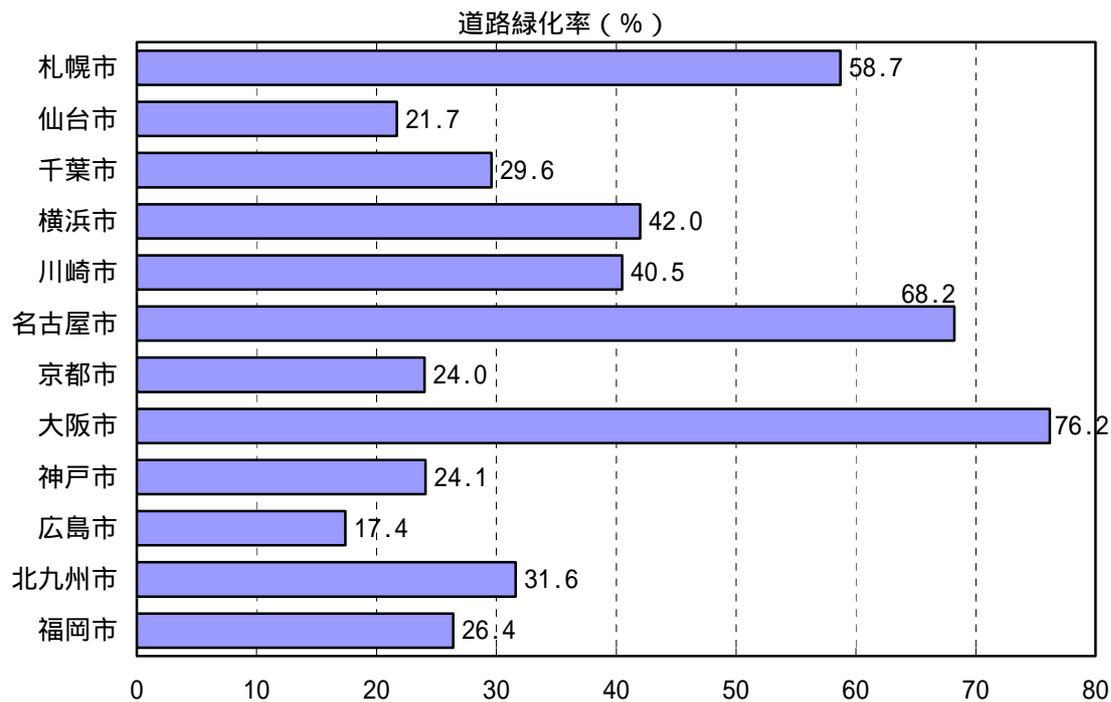


図-1.6 政令指定都市別の道路緑化率

（４）政令指定都市別の道路緑化率

図 - 1.6 に政令指定都市別の道路緑化率を示した。

政令指定都市別の道路緑化率は、大阪市が最も高く 76.2%、ついで名古屋市の 68.2%、札幌市の 58.7% となっている。政令指定都市の緑化率は全般的に非常に高く、ほぼ 2 割以上の道路が緑化されている現状である。

（５）まとめ

以上の結果をまとめると、道路緑化率は大都市と大都市を含む地域、沖縄県で高く、東北地方や北陸、四国や山陽で低い傾向があった。道路種別では、一般国道で緑化率が高かった。このような結果は、住宅密集地や都市の中心部を通る道路など、周辺環境に緑地の少ない地域ほど緑化の必要性が高く、道路緑化が都市緑化の一躍を担っていることが伺える。

更には大都市ほど自動車交通量及び歩行者人数が多いため、道路構造の高規格化に伴う歩道空間の創出による植樹帯若しくは植樹柵の設置による緑化に伴い緑化率が高くなっていることが考えられる。